

東京高等教育研究所 公開シンポジウム

大学の将来像をどう考えるのか

—私立大学を中心に—

昨年3月の文科大臣の諮問「我が国の高等教育に関する将来構想について」を受け、現在、中教審大学分科会将来構想部会では「おおむね2040年ごろを見据えた高等教育の将来像」に関する審議が進められています。6月25日に「中間まとめ」が発表され、今秋には答申がまとめられる予定です。

一方、まだ中教審で審議中であるにもかかわらず、その内容を盛り込んだ「骨太の方針2018」が閣議決定され、官邸主導の「大学改革」が強引に進められようとしています。そこでは、「高等教育の無償化」において対象となる大学を選別する方針も明記されています。こうしたなか、私大連盟は「未来を先導する私立大学の将来像」を発表し、私大協会も私立学校法改正と関連した「私立大学版ガバナンスコード」を発表するなど、私大団体の政策提言も活発化しています。さらには、経済同友会も「私立大学の撤退・再編に関する意見」を発表し、私大の淘汰と再編を求める動きが急速に進んでいます。

今回のシンポジウムでは、私大団体からもシンポジストをお迎えして、中教審の中間報告の分析を中心に政府の大学政策の動向を検討し、あるべき「大学の将来像」について考えます。

日 程 2018年 7月14日（土） 14:30 ～ 17:30

会 場 中央大学後楽園キャンパス5号館2階5234号教室

報 告

<報告1>

「今後の私大政策への期待」

小出秀文さん（日本私立大学協会事務局長、日本私立大学団体連合会事務局長）

<報告2>

「中教審『今後の高等教育の将来像の提示に向けた中間まとめ』をどう読むか？」

山口不二夫さん（明治大学グローバルビジネス研究科教授、東京高等教育研究所事務局長）

参加費 無 料

主 催 東京高等教育研究所

❖❖❖ 参加申し込み用紙（記名欄）は、「裏面」にあります。ご利用ください ❖

会場案内

中央大学後楽園キャンパス 東京都文京区春日 1-13-27



東京メトロ丸ノ内線・南北線『後楽園駅』から徒歩5分
都営三田線・大江戸線『春日駅』から徒歩約6分
JR中央・総武線『水道橋駅』から徒歩約12分
JR中央・総武線『飯田橋駅』から徒歩約17分
※春日通り沿いに正門、南門があります。

東京高等教育研究所

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-5-23
第1桂城ビル 3F 東京私大教連内
TEL: 03-3208-8071 / FAX: 03-3208-0430
E-mail: tanaka@tfpu.or.jp (田中)

参加申込書

FAX 03-3208-0430 へ送信してください

組合名(大学名)・所属	参加者氏名	